

品川・大田地域 PR 事業の実施結果について

1 事業名

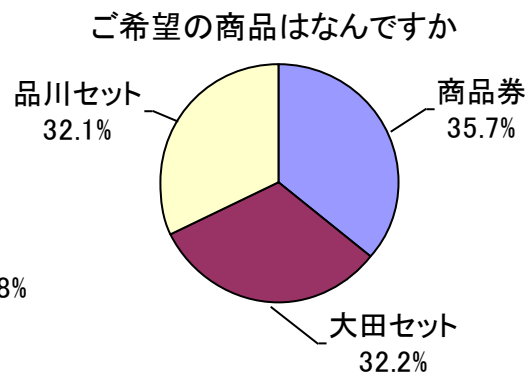
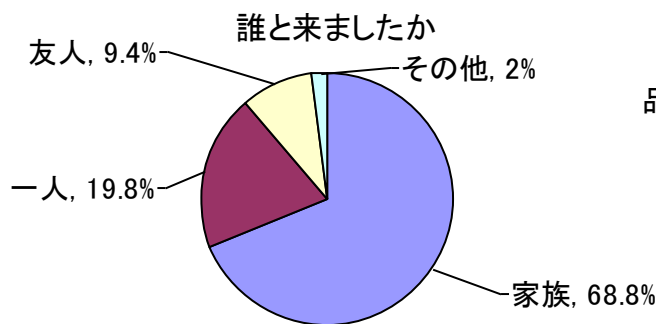
品川・大田交差するまち～旗の台、荏原町、洗足池、長原～
商店街をめぐって合言葉を探そう



東急蒲田駅ホームの配架

2 実施結果

- (1) 実施期間 令和3年11月1日(月)～30日(火)
- (2) 冊子配布枚数 4,750部
- (3) アンケート回答 606名(はがき:320名、web:286名)



3 参加者の感想 (抜粋)

- この企画をきっかけに、普段あまり行かない大田区の商店街を訪れるようになった。
- 今まで知らなかったお店を開拓でき、店員さんとの会話で多くの発見があった。
- 2つの区をまたいだイベントは新鮮さを感じ、今後も連動する企画を期待している。
- 区境の地域に焦点を当てていて、とても良い企画と感じた。
- 意外と歩き応えもあり、緊急事態宣言解除後のイベントとして非常に楽しめた。
- 参加店の特典を利用でき、お得な感じがした。
- 協力店舗による特典に気づけなかった。
- お店の数が少なく、もっと色々な参加店があれば良いと感じた。

4 総括

- (1) 本事業を通じて回遊性と店舗の認知度向上につながった。また、親子での参加が多く、今回ターゲットとしていたファミリー層を取り込めた。
- (2) 参加店舗数を増やしてほしいという声や、協力店舗による特典に気づけなかったとの課題が浮き彫りとなった。今後、周知方法などを工夫していく。
- (3) 今回は紙媒体(アナログ)で実施したが、スマートフォン等のデジタル化を検討する。